

第2章 医療施設調査・病院報告

1 施設数

平成22年10月1日現在の病院数は54施設（精神科病院8施設、一般病院46施設）で、前年に比べ2施設減少した。一般診療所は746施設で、前年に比べ5施設減少した。病床の有無でみた一般診療所数は、前年と比べて有床が1施設、無床が4施設それぞれ減少した。歯科診療所は283施設で、前年に比べ2施設減少した（表2-1）。

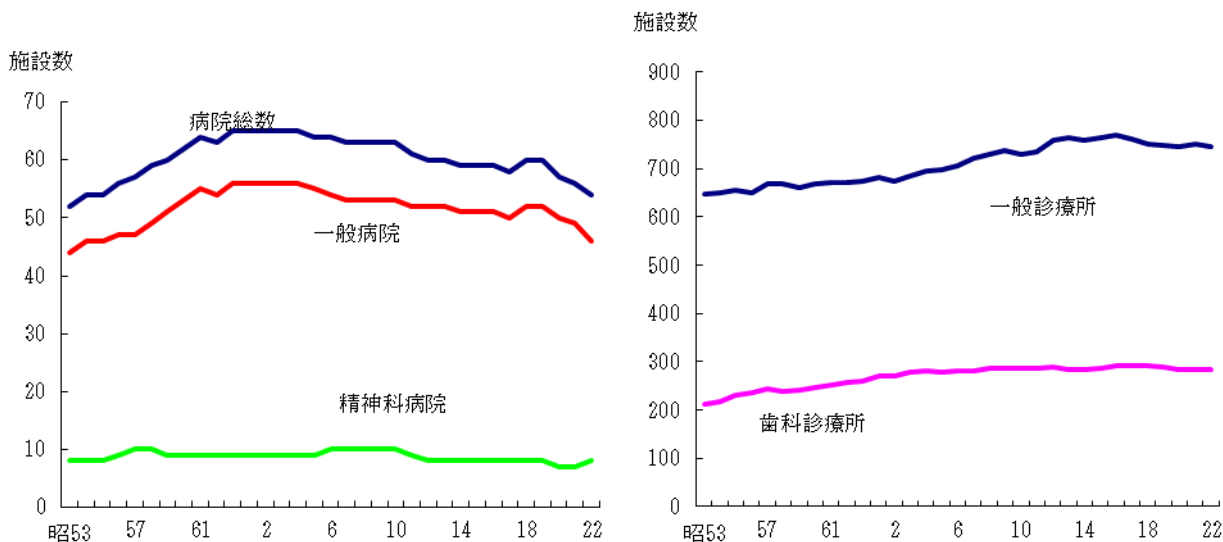
表2-1 医療施設の種別別にみた施設数

	施設数			構成割合(%)	
	平成22年	平成21年	増減数	平成22年	平成21年
総数	1,083	1,092	△ 9	100.0	100.0
病院	54	56	△ 2	5.0 (100.0)	5.2 (100.0)
精神科病院	8	7	1	(14.8)	(12.3)
結核療養所	-	-	-	(-)	(-)
一般病院	46	49	△ 3	(85.2)	87.7
一般診療所	746	751	△ 5	68.9 (100.0)	68.5 (100.0)
有床	67	68	△ 1	(9.0)	(9.3)
無床	679	683	△ 4	(91.0)	(90.7)
歯科診療所	283	285	△ 2	26.1	26.2

注：（ ）内の数値は病院、一般診療所の総数を100とした場合の構成割合である。

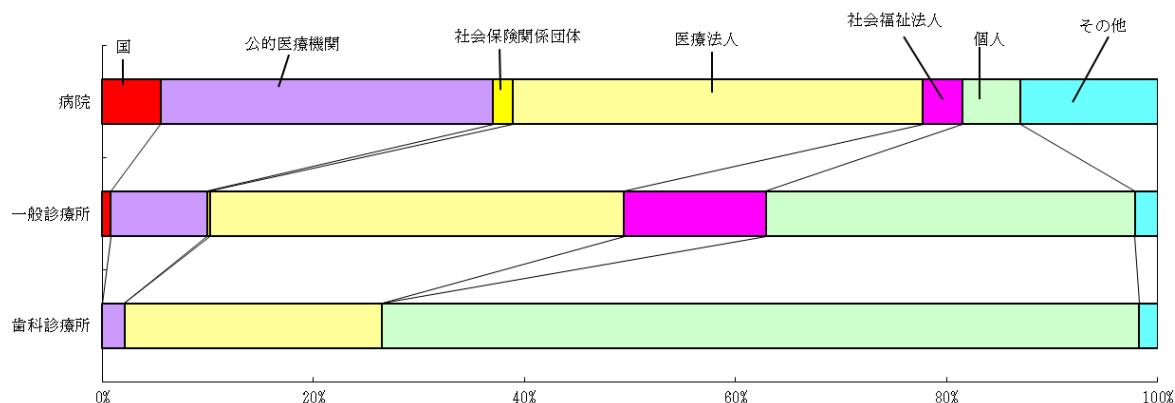
病院数の年次推移をみると、一般病院は昭和61年までは年々増加していたが、昭和63年から平成4年の65施設をピークに緩やかな減少傾向にある。精神科病院数は7～10施設で横ばいに推移している。一般診療所は平成16年までは緩やかな増加傾向にあったが、平成17年から減少傾向にある。歯科診療所は、緩やかな増加傾向にあったが平成18年をピークに減少に転じている（図2-1）。

図2-1 医療施設数の年次推移



医療施設の開設者割合をみると、病院は最も多いのが医療法人の 38.9%で、ついで県、市町村等の公的医療機関の 31.5%である。一般診療所は平成 10 年には個人が 5 割、医療法人が 3 割弱を占めていたが、年々個人の占める割合が減少し、医療法人の占める割合が増加したため、平成 20 年には医療法人が個人より多くなった。一般診療所における平成 22 年の状況は、医療法人が 39.3%、個人が 35.0%である。歯科診療所は大部分が個人で、71.7%を占めており、ついで医療法人が 24.4%となっている（図 2-2）。

図 2-2 医療施設の開設者割合 (%)



人口 10 万対施設数を前年と比べると、病院は 0.3、一般診療所は 0.6、歯科診療所は 0.3 それぞれ減少した。

全国と比べると、病院は 0.7、一般診療所は 26.0 高く、歯科診療所は 14.0 低くなっている（表 2-2）。

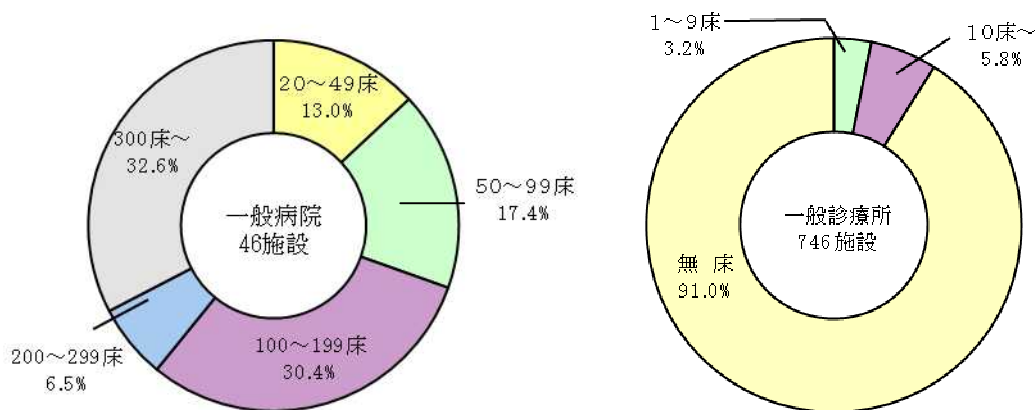
表 2-2 人口 10 万対医療施設数

	島根県		全国
	平成22年	平成21年	平成22年
病院	7.5	7.8	6.8
一般診療所	104.0	104.6	78.0
歯科診療所	39.4	39.7	53.4

一般病院を病床規模別にみると、20~49床が 13.0%、50~99床が 17.4%、100~199床が 30.4%、200~299床が 6.5%、300床以上が 32.6%であった。

一般診療所は 1~9床が 3.2%、10床以上が 5.8%、残りの 91.0%は無床である（図 2-3）。

図 2-3 一般病院、一般診療所の病床規模別割合



2 病床数

平成22年10月1日現在の病院の病床数は前年に比べ208床減少した。病床の種別にみると、精神病床が18床、感染症病床が2床増加し、療養病床が128床、一般病床が100床減少した。

また、一般診療所の病床数は前年から71床減少した（表2-3）。

表2-3 医療施設の種別による病床数

	病床数			構成割合(%)	
	平成22年	平成21年	増減数	平成22年	平成21年
総数	12,260	12,539	△279	100	100
病院	11,465	11,673	△208	93.5 (100.0)	93.0 (100.0)
精神病床	2,510	2,492	18	(21.9)	(21.2)
感染症病床	30	28	2	(0.3)	(0.3)
結核病床	33	33	-	(0.3)	(0.7)
療養病床	2,298	2,426	△128	(20.0)	(20.3)
一般病床	6,594	6,694	△100	(57.5)	(57.5)
一般診療所	795	866	△71	6.5	7.0
歯科診療所	-	-	-	-	-

注：() 内の数値は病院の病床数総数を100とした場合の構成割合である。

人口10万対病床数を前年と比べると、病院では、療養病床が17.6、一般病床が13.1減少し、精神病床が2.8、感染症病床が0.3増加した。

また、一般診療所は前年より9.8減少した。

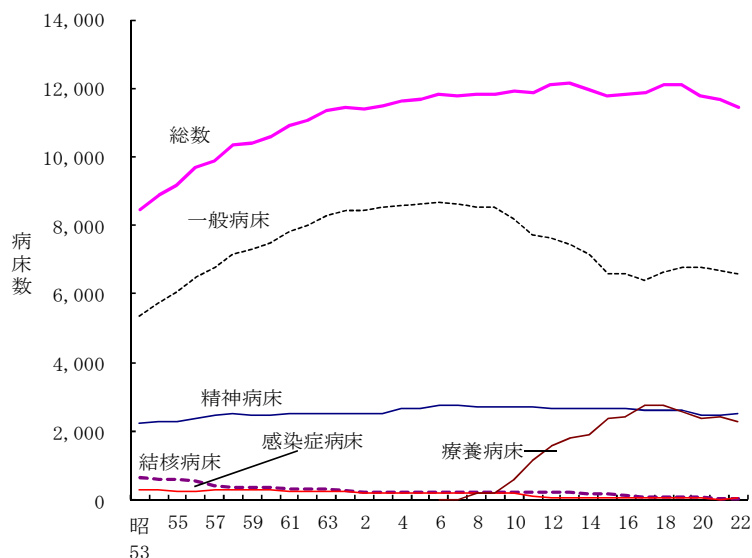
病院における人口10万対病床数は、全国よりかなり高くなっており、一般診療所についても全国を上回っている（表2-4）。

表2-4 人口10万対病床数

	島根県		全国
	平成22年	平成21年	平成22年
病院	1,598.1	1,625.8	1,244.3
精神病床	349.9	347.1	270.7
感染症病床	4.2	3.9	1.4
結核病床	4.6	4.6	6.4
療養病床	320.3	337.9	260.0
一般病床	919.2	932.3	705.6
一般診療所	110.8	120.6	106.9

病院の病床数の推移をみると、総数は緩やかな上昇傾向にあったが、平成18年をピークに減少に転じた。一般病床は平成10年から平成18年の間、療養病床の増加に伴い減少した。一方、療養病床は平成8年以降、年々増加していたが、平成18年の2,740床をピークに減少している（図2-4）。

図2-4 病床の種別による病院の病床数



注:1) 「一般病床」は、昭和62年～平成4年は「その他の病床」、平成6年～平成12年は「その他の病床(療養型病床群)をのぞく」、平成13・14年は「一般病床」及び「経過的旧その他の病床(経過的旧療養型病床群をのぞく)」である。

注:2) 「療養病床」は、平成12年までは「療養型病床群」であり、平成13・14年は「療養病床」及び「経過的旧療養型病床群」である。

3 診療科目

県内 54 施設の病院のうち、内科を持つ病院が最も多く 48 施設で、ついで整形外科が 36 施設、外科が 32 施設となっている。平成 21 年と比べると形成外科等 7 診療科目が増加し、麻酔科等 8 診療科目が減少した。

一般診療所 746 施設のうち、最も多い診療科目は内科の 577 施設であり、ついで小児科が 192 施設、消化器内科（胃腸内科）が 158 施設、外科が 107 施設となっている。平成 21 年と比べると、呼吸器内科等 7 診療科目が増加し、小児科等 13 診療科目が減少した。

表 2-5 診療科目別にみた病院数、一般診療所数（重複計上）

	病 院			一 般 診 療 所		
	平成22年	平成21年	増減数	平成22年	平成21年	増減数
内科	48	50	△ 2	577	578	△ 1
呼吸器内科	13	13	-	43	41	2
循環器内科	21	22	△ 1	104	103	1
消化器内科（胃腸内科）	17	18	△ 1	158	160	△ 2
腎臓内科	4	3	1	6	6	-
神経内科	29	29	-	30	28	2
糖尿病内科（代謝内科）	3	2	1	13	14	△ 1
血液内科	2	1	1	1	1	-
皮膚科	22	22	-	64	67	△ 3
アレルギー科	2	2	-	38	37	1
リウマチ科	4	4	-	19	20	△ 1
感染症内科	-	-	・	5	5	-
小児科	25	26	△ 1	192	200	△ 8
精神科	23	24	△ 1	52	50	2
心療内科	4	4	-	31	29	2
外科	32	32	-	107	110	△ 3
呼吸器外科	6	6	-	1	1	-
循環器外科（心臓・血管外科）	7	6	1	2	2	-
乳腺外科	2	2	-	2	2	-
気管食道外科	-	-	・	3	3	-
消化器外科（胃腸外科）	2	3	△ 1	5	5	-
泌尿器科	20	19	1	21	23	△ 2
肛門外科	3	3	-	19	19	-
脳神経外科	15	15	-	7	7	-
整形外科	36	36	-	66	67	△ 1
形成外科	7	5	2	9	9	-
美容外科	-	-	・	3	3	-
眼科	22	22	-	49	47	2
耳鼻いんこう科	22	22	-	29	29	-
小児外科	1	1	-	4	4	-
産婦人科	17	17	-	18	20	△ 2
産科	2	2	-	1	1	-
婦人科	6	6	-	18	19	△ 1
リハビリテーション科	31	29	2	59	61	△ 2
放射線科	21	22	△ 1	31	31	-
麻酔科	20	23	△ 3	16	17	△ 1
病理診断科	-	-	・	-	-	・
臨床検査科	-	-	・	-	-	・
救急科	2	2	-	-	-	・
歯科	6	6	-	7	7	-
矯正歯科	-	-	・	-	-	・
小児歯科	-	-	・	-	-	・
歯科口腔外科	11	11	-	-	-	・

4 利用状況

平成 22 年の 1 日平均在院患者数は 9,448 人であり、前年から 82 人減少した。うち、精神科病院は 111 人増加し、一般病院は 192 人減少した。1 日平均新入院患者数は 278 人で前年から 3 人増加した。1 日平均退院患者数は 278 人で、前年から 3 人増加した。1 日平均外来患者数は 7,695 人で、前年から 213 人減少した（表 2-6）。

表 2-6 病院・病床の種類別にみた 1 日平均在院・新入院・退院・外来患者数

	1 日平均在院患者数			1 日平均新入院患者数		
	平成22年	平成21年	増減数	平成22年	平成21年	増減数
病院 総数	9,448	9,530	△ 82	278	275	3
精神科病院	1,642	1,531	111	5	5	-
一般病院	7,807	7,999	△ 192	272	270	2
病床 総数	9,448	9,530	△ 82	278	275	3
精神病床	2,260	2,239	21	8	9	△ 1
感染症病床	0	0	-	0	0	-
結核病床	9	11	△ 2	0	0	-
療養病床	2,052	2,120	△ 68	9	9	-
一般病床	5,128	5,160	△ 32	260	256	4

	1 日平均退院患者数			1 日平均外来患者数		
	平成22年	平成21年	増減数	平成22年	平成21年	増減数
病院 総数	278	275	3	7,695	7,908	△ 213
精神科病院	5	5	-	407	379	28
一般病院	272	270	2	7,288	7,529	△ 241
病床 総数	278	275	3	・	・	・
精神病床	9	9	-	・	・	・
感染症病床	0	0	-	・	・	・
結核病床	0	0	-	・	・	・
療養病床	11	12	△ 1	・	・	・
一般病床	257	254	3	・	・	・

注：端数処理のため、総数と内訳の集計数値が一致しない場合がある。

平成 22 年の病院の病床利用率は、総数が 82.2%、精神病床が 90.0%、療養病床が 88.3%、一般病床が 77.7%、結核病床が 26.0%、感染症病床が 0.1%であった。前年と比較すると、感染症病床が下降、その他の病床で上昇している（図 2-5）。

図 2-5 病床の種類別にみた病院病床利用率の年次推移

